

## 【平成 30 年 12 月】

### 地域を支える仕組みづくり

#### 鳴子温泉地域で地域住民と一緒に地域について考える研修会が開催されました

平成 30 年 12 月 6 日（木曜日）午後 1 時 30 分から鳴子公民館にて、鳴子まちづくり協議会主催で「地域支え合い お宝 発見！」が開催されました。

今回は仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏を講師に招き「既に地域にある支え合い（お宝）」についての講話後に鳴子温泉地域で行われている支え合いについてグループに分かれて話し合いました。

グループからは、「いきいき百歳体操の参加者が徐々に増えてみんなで体操している」「地域のお宝が地域包括ケアシステムにつながっていると思う」「普段毎日やっていることがお宝なんだと思った」という意見が出されて、鳴子温泉地域における支え合い（お宝）やこれからの課題について話し合われました。

#### 西古川地区振興協議会主催のワークショップの 3 回目が開催されました

平成 30 年 12 月 13 日（木曜日）午後 7 時から西古川地区公民館にて、西古川地区振興協議会主催（西古川地区公民館共催）で「第 3 回地域づくりワークショップ～地域の課題を話し合おう～」が開催されました。

一区切りとなる 3 回目は、「西古川小学校」の統廃合について地域住民にも知ってほしいという思いから、小学校の利活用について各グループで話し合いました。各グループからは、「これまで話し合ってきた課題を解決するための拠点として活用すればいいのではないか。」「若い人から高齢者までが集まってサークル活動できる場として活用したい」などの意見が出されました。

#### 鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）で生活支援体制整備事業を実施します

平成 30 年 12 月 20 日（木曜日）から鹿島台まちづくり協議会で「支え合いの仕組みづくり（生活支援体制整備事業）」を活用した地域を支える仕組みづくりの取り組みが始まりました。

健やか安心委員会では、平成 29 年度から行政区長、民生委員、保健推進委員等を担っている委員とワークショップを開催して地域課題の把握や課題解決の方法について話し合ってきました。今後、事業を実施してコーディネーターを配置することで地域課題の整理や課題解決に向けた話し合いを行うなど、支え合いの仕組みづくりに向けて進んでいきます。

## 医療と介護の連携

### 岩出山地区の看護職が集まる研修会が行われました

平成 30 年 12 月 5 日（水曜日）午後 3 時から大崎市民病院岩出山分院会議室にて岩出山地区の看護職を対象とした「平成 30 年度岩出山地区看護職の集い」が開催され、病院や施設から 25 人の参加がありました。

今回は、誤嚥性肺炎による入退院患者が多いことから、株式会社クリニコから講師を招き「嚥下に関する基礎知識と、食事介助時の工夫」に研修後、大崎市流地域包括ケアシステムについて民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が説明を行いました。意見交換では病院間の連携や独居でキーパーソンが不明な場合の対処について意見交換が行われました。

### ふらっといしかいサロンを開催しました

平成 30 年 12 月 14 日（金曜日）午後 5 時 30 分から大崎市図書館多目的ホールにて「ふらっといしかいサロン」を開催し、約 35 人の来所がありました。

このサロンは、地域の方々が病気や健康管理のことについて「ちょっと聞いてみたいこと」を医師や看護師等に気軽に相談できる場になっています。午後 7 時からの医師によるミニ講座では、近江医院 院長 近江 徹廣 氏による「メタボのはなし」が行われました。

会場には大崎市医師会、大崎歯科医師会、大崎薬剤師会、宮城県理学療法士会、宮城県作業療法士会、宮城県言語聴覚士会、大崎栄養士会、行政（宮城県北部保健福祉事務所、大崎市）からの医療介護資源情報コーナーや、ミニ図書館もあります。次回は 1 月 18 日（金曜日）に開催します。午後 7 時からのミニ講座はすすき脳神経外科クリニック 院長 鈴木 豪 氏による「あたまのはなし」です。興味がある方は気軽にお越し下さい。

### 大崎市医師会主催の医学講座 6 回目が開催されました

平成 30 年 12 月 18 日（火曜日）午後 6 時 30 分から大崎市図書館にて大崎市医師会主催による「今だから学びたい介護事業所向け医学講座」の第 6 回目が開催され、市内の介護事業所に勤めるケアマネジャーや介護士等 58 人が参加しました。今回は 三浦病院副院長（医師） 赤石節夫 氏が講師になり、「状態の観察と緊急時の対応・医療介入への気づき」についての講義が行われました。

参加者からは「状態観察について詳しい話を聞けた」「緊急時に対応する際のポイントについて勉強になった」「いつも心掛けているが、改めて学ぶ機会になった。今後に生かしたい」等の前向きな感想が多く聞かれました。

## 専門職と地域のつながり

### 高齢者の自立支援を効果的に進めるための研修会を開催しました

平成 30 年 12 月 11 日（火曜日）午後 1 時から大崎市役所東庁舎 5 階大会議室にて高齢介護課主催で「大崎市介護予防のための地域ケア個別会議推進研修会」が開催されました。

この研修会はモデル市である大崎市において介護予防を必要とする高齢者の自立支援を効果的に進めるため、自立支援ケアマネジメントに主眼を置いた地域ケア会議の開催を推進するために宮城県と合同で開催している研修会です。

今回は、全国的にこの事業を進めていく指導者である株式会社ライフリー 代表取締役 佐藤孝臣 氏を講師に招き「自立支援型アセスメントの重要性と介護予防のための地域ケア個別会議のねらい」について先進的に実施している大分県での事例を踏まえて講演を頂きました。

参加者からは、「自立支援を行う際に、アセスメントを重視して支援を行いたい」「利用者の地域での役割を変えずに生活を維持することは大事」という感想を頂きました。



### 認知症ケアの質の向上と事業所の連携を深める研修会が開催されました

平成 30 年 12 月 17 日（月曜日）午後 1 時から大崎市役所北会議室 2 階にて高齢介護課主催で「平成 30 年度大崎市認知症地域支援推進チーム育成研修」が開催され、主に施設に勤務している方々が約 20 人参加しました。

この研修は、高齢者を身近にケアしている医療機関及び介護事業所の看護・介護職員を対象に認知症支援（センター方式）を学ぶ研修を実施して認知症ケアの質の向上と、事業所の連携を深めることを目的に行われています。

今回は、初の試みとして行政区長、施設管理者、地域支援コーディネーターが、認知症になっても地域で活躍している人の紹介をするなど「地域」と「施設」のつながりについて勉強しました。

参加者からの感想として、「認知症だからといって手厚く接するのではなく、できることはやってみようことで、認知症の方にとっても居心地の良い関わりができるかもしれない」「施設としての会議にも行政区長と会う機会があるので、もっとつながりたい」という認知症の方々への関わりに直結する意見が多く出されました。